



# 平成31年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月11日

上場会社名 株式会社 柿安本店  
 コード番号 2294 URL <http://www.kakiyasuhonten.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘

TEL 0594-23-5500

四半期報告書提出予定日 平成30年7月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	10,616	1.7	515	12.5	526	11.3	311	15.8
30年2月期第1四半期	10,436	1.9	588	16.4	593	16.7	370	26.3

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 287百万円 (16.7%) 30年2月期第1四半期 345百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
31年2月期第1四半期	29.80	
30年2月期第1四半期	34.60	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	18,874	13,777	13,777	14,065	73.0
30年2月期	18,961	14,065	14,065		74.2

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 13,777百万円 30年2月期 14,065百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
30年2月期		0.00		55.00	55.00
31年2月期					
31年2月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

当社は、平成30年6月8日付で完全子会社である柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社はなくなることから、平成31年2月期第2四半期より個別決算による開示へ移行いたします。

当合併による業績への影響を勘案し、個別業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日付にて公表いたしました「特別利益(抱合せ株式消滅差益)の発生並びに非連結決算への移行に伴う平成31年2月期個別業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	12,446,700 株	30年2月期	12,446,700 株
期末自己株式数	31年2月期1Q	1,978,696 株	30年2月期	1,978,696 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	10,468,004 株	30年2月期1Q	10,706,073 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済が底堅く推移したことから、輸出企業を中心に企業業績は堅調であり、雇用環境の改善を背景に所得についても緩やかな回復基調となりました。しかしながら、エネルギー価格の上昇等により実質賃金の上昇は抑えられる中で節約志向は根強く、個人消費の回復は足踏み状態にあり、力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、「肉の老舗 柿安」ならではの商品拡充に注力いたしました。

出退店・改装につきましては、「近鉄上本町ダイニング」をはじめ計18店を出店する一方、1店を改装し、3店を退店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,616百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は515百万円(同12.5%減)、経常利益は526百万円(同11.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は311百万円(同15.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

#### (a) 精肉事業

精肉事業につきましては、牛一頭分の部位をまるごとお値打ちにご提供する「一頭セール」等、製販一貫の体制を活かした販売施策の他、日常使い商品の更なる拡充による商品力の向上に注力いたしました。

出退店・改装につきましては、イオンモール桑名精肉店を改装し、入店先施設の撤退に伴い1店を退店いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,492百万円(前年同期比0.3%減)、セグメント利益は317百万円(同33.3%増)となりました。

#### (b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、彩り豊かな野菜を添えた季節限定メニューとして『春の黒毛和牛 牛めし 緑黄色野菜入り』等を展開するとともに、スパイスの効いた『スペアリブスパイスシーフライ』、オリジナルの甘辛ダレで焼き上げた『スタミナ焼肉重』等、肉の老舗ならではの商品展開に注力いたしました。

出退店につきましては、近鉄百貨店上本町店に「柿安ダイニング」を出店した他、計4店を出店いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,387百万円(前年同期比4.9%増)、セグメント利益は247百万円(同24.0%減)となりました。

#### (c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、歳時に応じた商品展開を行いました。『ちまき』や、つぶあん・こしあん・黒米・みそといった各種の『柏餅』の他、定番商品となった『いちご大福』、『バナナ大福』、京都宇治抹茶を使用したおはぎやどら焼等、季節感のある売場展開に継続して取り組みました。

出退店につきましては、10店を出店、1店を退店いたしました。

この結果、当事業の売上高は2,067百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益は261百万円(同14.8%減)となりました。

#### (d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、ビュッフェ業態ではイベントに応じた企画メニューを展開、グリル業態では、『柿安名物 牛肉しぐれ煮丼』を主力メニューとした「柿安 Meat Express」の出店を強化し、レイクタウン店をはじめ計3店をフードコートに出店いたしました。また、グリル業態とのシナジーも図るため、テラスモール湘南にしゃぶしゃぶ食べ放題と和洋中の創作料理をお楽しみいただけるビュッフェ業態「柿安 Meat Buffet」を出店し、その活性化に注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,326百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント利益は40百万円(同27.2%減)となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、『わさび茎入り 牛肉春しぐれ』の季節商品をご提案、夏に向けてピリ辛風味の牛肉しぐれ煮商品を開発する等、パーソナルユースの商品充実に注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は343百万円(前年同期比16.5%減)、セグメント利益は5百万円(前年同期は5百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、18,874百万円となりました。

流動資産は344百万円減少し、10,595百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少699百万円と売掛金の増加304百万円等であります。固定資産は257百万円増加し、8,279百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加211百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、5,097百万円となりました。

流動負債は168百万円増加し、4,480百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の増加187百万円及び未払費用の増加144百万円並びに買掛金の増加144百万円等と未払法人税等の減少375百万円であります。固定負債は32百万円増加し、617百万円となりました。主な要因は、資産除去債務の増加45百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ287百万円減少し、13,777百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少263百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成30年6月8日付で完全子会社である柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社がなくなることから、平成31年2月期第2四半期より個別決算による開示へ移行いたします。

当合併による業績への影響を勘案し、個別業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日付にて公表いたしました「特別利益(抱合せ株式消滅差益)の発生並びに非連結決算への移行に伴う平成31年2月期個別業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,338	6,639
受取手形及び売掛金	2,626	2,930
商品及び製品	336	330
仕掛品	211	239
原材料及び貯蔵品	190	196
繰延税金資産	206	232
その他	30	27
流動資産合計	10,939	10,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,127	3,338
土地	2,255	2,242
その他(純額)	722	765
有形固定資産合計	6,104	6,346
無形固定資産	225	223
投資その他の資産		
投資有価証券	180	158
繰延税金資産	151	158
差入保証金	884	954
退職給付に係る資産	190	184
その他	285	253
投資その他の資産合計	1,692	1,709
固定資産合計	8,022	8,279
資産合計	18,961	18,874
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,291	1,436
未払金	583	596
未払法人税等	660	285
未払費用	966	1,111
賞与引当金	367	554
役員賞与引当金	39	9
その他	401	485
流動負債合計	4,311	4,480
固定負債		
資産除去債務	508	553
その他	76	63
固定負債合計	585	617
負債合計	4,896	5,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,074	1,074
利益剰余金	15,142	14,879
自己株式	△3,542	△3,542
株主資本合計	13,944	13,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	6
退職給付に係る調整累計額	98	89
その他の包括利益累計額合計	120	96
純資産合計	14,065	13,777
負債純資産合計	18,961	18,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	10,436	10,616
売上原価	5,249	5,285
売上総利益	5,186	5,330
販売費及び一般管理費	4,598	4,815
営業利益	588	515
営業外収益		
受取利息	0	0
工事負担金等受入額	—	6
その他	6	6
営業外収益合計	6	13
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	2
営業外費用合計	1	2
経常利益	593	526
特別損失		
固定資産除売却損	4	8
特別損失合計	4	8
税金等調整前四半期純利益	588	517
法人税、住民税及び事業税	257	228
法人税等調整額	△39	△22
法人税等合計	218	205
四半期純利益	370	311
親会社株主に帰属する四半期純利益	370	311



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	370	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△14
退職給付に係る調整額	△9	△9
その他の包括利益合計	△25	△24
四半期包括利益	345	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	345	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,502	3,229	2,056	1,236	411	10,436	—	10,436	—	10,436
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	236	2	16	4	69	329	—	329	△329	—
計	3,739	3,232	2,072	1,241	480	10,765	—	10,765	△329	10,436
セグメント利益 又は損失(△)	238	325	306	55	△5	920	—	920	△331	588

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等でありま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△331百万円には、各報告セグメントに配分していない  
全社費用△343百万円及びその他調整額12百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セ  
グメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成30年3月1日至平成30年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,492	3,387	2,067	1,326	343	10,616	—	10,616	—	10,616
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	289	2	14	5	208	520	—	520	△520	—
計	3,781	3,389	2,081	1,332	551	11,136	—	11,136	△520	10,616
セグメント利益 又は損失(△)	317	247	261	40	5	871	—	871	△356	515

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等ではありません。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△356百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△366百万円及びその他調整額10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、事業管理部門の変更に伴い、精肉事業に含めておりました一部の店舗について、惣菜事業へ報告セグメントを変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

当第1四半期連結会計期間より、事業管理部門の変更に伴い、食品事業に含めておりました一部の商品について、精肉事業へ報告セグメントを変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、平成30年4月11日開催の取締役会の決議に基づき、平成30年6月8日付で当社の完全子会社である柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併いたしました。

(1) 取引の概要

① 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 柿安グルメフーズ株式会社

事業の内容 しぐれ煮等の販売

② 企業結合日

平成30年6月8日

③ 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④ 結合後企業の名称

株式会社柿安本店

⑤ その他取引の概要に関する事項

商品開発、生産及び販売の組織一本化を進め、当社グループの経営資源の集中と組織運営の強化及び経営の効率化を推し進めることを目的としております。

(2) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。

(3) 合併比率及びその算定方法、交付または交付予定の株式数、企業結合後に増加する資本金の額

本合併は、当社の完全子会社との合併であるため、合併比率の取決めはありません。また、合併による新株発行及び資本金の増加もありません。